

平成30年度 事業報告書

1 事業の成果

平成30年9月から2期目の事業がスタートしました。読売新聞(平成31年1月25日)に取り上げられ、また、同年3月に川崎市教育委員会の後援を得ることが出来ましたので、生徒数は飛躍的に増え、期初の18名から期末には32名となりました。教場は従来通り川崎市いこいの家の夜間開放を利用しています。

経済的に恵まれない家庭の子どもを主な対象として、夕食提供と学習指導を無償で行うというコンセプトは変わっていません。私どもの趣旨に賛同された方が平成30年9月にNPO法人寺子屋子ども食堂・王子を兄弟校としてオープンされました。また、令和元年11月には神奈川県相模大野に「てらこや食堂ラッキーズ」が姉妹校としてスタートします。今後ともこの寺子屋食堂が全国に広まって行くのではと思っています。

川崎市からの要請で始まった親子参加型の日曜講座は専修大学の課題解決型インターンシップに採択され、5名の学生が企画・立案・実行しました。平成30年10月のクラシック音楽鑑賞会(ミューザ川崎)、同年11月の芋掘り&BBQ大会、同年12月のクリスマスパーティ(2日間)、平成31年2月の第2回スノーボー教室、同年3月の陶芸教室、同年4月の芋掘り&BBQ大会、令和元年6月のヨガ教室と年間8回の実施となりました。また、第1期に比べて参加者が大幅に増え、芋掘り&BBQ大会では親子・ボランティア・地域住民が40名参加しました。

法人運営の基盤となる財政面では、平成31年3月まで独立行政法人福祉医療機構の「子どもの未来応援基金第2回未来応援ネットワーク事業」の助成金総額4,101千円を受けていました。同年4月以降は寄付金と借入金で賄っています。

学習指導面では平成31年3月に2人の受験生がそれぞれ第1志望の高校に合格しました。世間の評価ではなくて、教育内容の充実した高校や大学に進学させたいというのが私どもの願いです。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

第2期も通年で各教場とも基本週2回開催

長尾いこいの家 90回 延べ人数828人

菅いこいの家 97回 延べ人数616人